

よりそう

Side by Side



第104号

編集責任：中村

編集担当者 三好、大沼・中村

本日のミニインタビュー
ビニールの分別は色別にして行っている(茶・透明・その他)

10/20 (木) 天気 晴
気温 6.2℃

降水確率 0%

『遠野まごころネットの立ち上がり前後』



佐藤正市代表

佐藤正市代表
インタビュー
(2011.10.16
PM3:45~)

地震発生
2011.3.11
PM2:46 朝
本大震災起
こした。遠野社
会福祉協議
会和室には遠

野市内の被災された方々が150名以上避難してこ
ら、100名近い方々が宿泊された。

3.12~3.27の期間は、遠野市と遠野社会
福祉協議会両方で遠野市職員と募集した
遠野市民ボランティアの方々とバス2台に乗り込
もらい、1台は釜石・大槌・山田方面へ、1台は陸
前高田・大船渡方面へ物資運搬及び救援活
動を行なった。

物資が集まらない時は、集まっている方々
にしてもらう事がなくなり、さて、このままの方向性で
いいのかなという意見もあつた。その中で、遠野社
会福祉協議会・遠野市内のNPOや各種団
体・静岡ボランティア協会等が結集し、協議した。

立ち上がり

その結果、3月27日(日) 遠野災害ボラン
ティアネットワーク(通称：遠野まごころネット)が創立
された。発足時は7団体で構成された。(1%
現在57団体)この日、ボランティア事務局を遠野

社会福祉協議会正面玄関入り、北西側窓の
所(現在と同じ位置)に長机4つで開設した。(1%
現在は長机10個、食卓専用として3個、計13個設置)

ただちに活動開始

- ネット開設の翌3月28日(月)、活動第1号として
- ①多田一彦さんをリーダーとしてボランティア7人で大槌
町桜木地区の家屋瓦礫撤出にたがけた。
- ②まけない象班が出發。

組織的に一般個人参加ボラン ティアの受け入れ開始

4月3日(日)までは、遠野市のボランティア派遣
は、遠野市が行っていたが(バス出発は遠野福祉

4月4日(月)からはボランティアの募集・派遣は、
遠野まごころネットに一任化され、5日に至っている。
(あぶり)

三好註： 私は、多田一彦副代表(5月当時所長)
から、遠野まごころネットの衣期を初

めて遠野まごころネットに参り出した参加者へ語り継
いでほしいと依頼された。私は4月20日(水)に
まごころネットに来た一般参加個人ボランティア(伊音
館和室組：通称)の一人、これまでに役別
はなかった。7月、8月、10月にまごころネットに来た
必ず、初参加者ミーティングに現在まで話役と
共に出席させてもらい、話をしてきた。この方が、
ゆかり 皆私を私は伊音館和室組の一般
個人参加ボランティアが何時か受け入れられるよ
うになつたのが“アマイ”であった。今回の佐藤代表
のお話で4月4日(月)とみていいようである。

正式名称の「ボランティアネットワーク」を見ると、創設
にかかわった方々が何を目標にしたのか察することが
できる。

なお、個人ボランティアは1/2~3/4ほど来て
おられることを付記しておく。

まごころ種 募集
内勤専集中です!

くわしくはHPへ